

ビデオ 通信

2020年
2月20日(木)
No.4353

月・木曜日発行
1ヶ月¥11,000(税別)
発行：飯澤剛 編集：齋藤浩一

ユニ通信社

〒106-0047
東京都港区南麻布5-2-37
DEPECHE MODE 4F
TEL：03-5422-7515
FAX：03-5422-7516
E-mail：vt@uni-press.net

映学社

児童劇『フクロウ人形の秘密』（仮）の制作進む

“子どもの作文の映画化” 第5弾、テーマは「再犯防止」

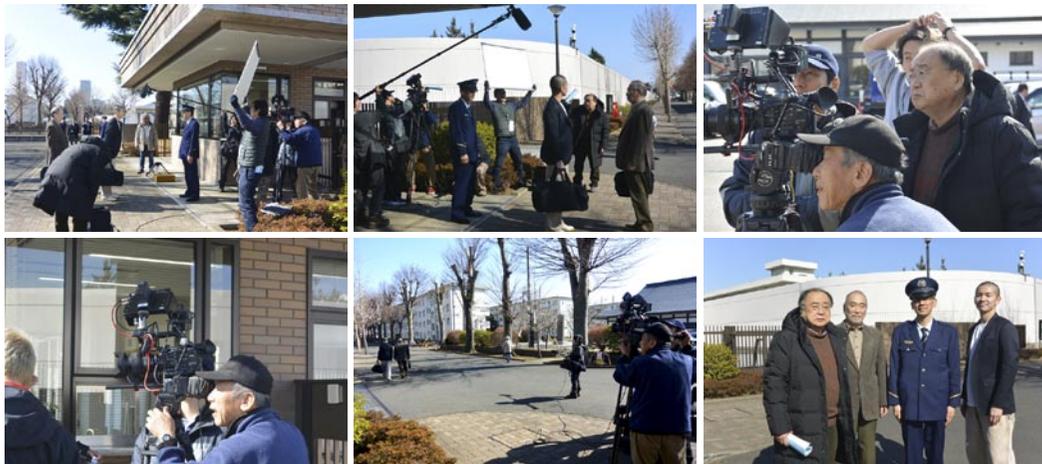
法務省矯正局・保護局・更生保護法人両全会の協力で少年刑務所内の撮影も…

刑を終えて犯罪に走る「再犯者」の割合は実に2人に1人



『フクロウ人形の秘密』（仮）の撮影風景

映学社が推進する“子どもの作文の映画化”の第5弾となる児童劇『フクロウ人形の秘密』（仮）の制作が進められている。今回のテーマは「再犯防止」。第68回“社会を明るくする運動”作文コンテスト 小学生の部で法務大臣賞を受賞した小学4年生が書いた作文をベースとしたもので、製作総指揮・脚本・監督をつとめる代表取締役社長の高木裕己氏は「受刑者が何故、再犯してしまうのか」というテーマを“子どもの主観”で捉えたドラマになる」としている。今回は法務省の全面協力により、ドラマの制作では今まで許可されなかった川越少年刑務所内での撮影が実現したほか、東京・府中刑務所と隣接する刑務作業常設展示場（CAPIC）内での撮影も行われた。クランクアップの後、編集やMA等を経て、今年度中に完成させる予定。



2月5日には、府中刑務所正門玄関で、服役を終えたヒロシ（福地展成）が、迎えに来た保護司（大槻修治）と一緒に少年刑務所から出て行くシーンの撮影が行われた。ヒロシに声をかける刑務官の役は実際の刑務官が演じている

少年刑務所内や府中刑務所、CAPIC での撮影が実現



児童劇『フクロウ人形の秘密』（仮）の制作には、法務省矯正局・保護局と更生保護法人 両全会が企画協力しており、これまでドラマの制作では今まで許可されなかった少年刑務所での撮影が進められた。

2月4日には川越少年刑務所内、翌5日には国内最大級といわれる東京・府中刑務所（←写真）の正門や玄関などでの撮影が行われた。

今回のテーマは「再犯防止」

映学社では、「小・中学生の作文の映画化」として、これまでに『悩まずアタック！脱・いじめのスパイラル』（テーマ：いじめ）、『こんにちは 金泰九さん ハンセン病問題から学んだこと』（テーマ：ハンセン病）、『涙に浮かぶ記憶 戦争を次世代へ伝えて』（テーマ：戦争）、『「やさしく」の意味－おばあちゃんは認知症だった－』（テーマ：認知症／写真→）の4作品を制作しており、国内外のアワードでも数多くの賞を受賞している。

今回の作品は、昨年実施された法務省主催の第68回“社会を明るくする運動”作文コンテスト 小学生の部で法務大臣賞を受賞した小学4年生が書いた作文がベースになっている。

“社会を明るくする運動”作文コンテストは、全国の小・中学生に、日常生活での体験を通じて、犯罪や非行のない明るい社会づくりについて考えたことや感じたことを作文にすることで、“社会を明るくする運動”に対する理解を深めてもらうことを目的として実施しているもの。26回目となった今回は、33万7354点（小学生14万6300点、中学生19万1054点）の応募の中から入賞作品32点を選出。法務大臣賞（最優秀賞）を受賞した小学生の作文を脚色した。脚本にあたっては、更生保護法人 両全会 理事長の小畑輝海氏、日本市民安全学会 会長の石附弘氏、弁護士（篤志面接



委員)の大川哲次氏、早稲田大学法学部名誉教授の石川正興氏および渋谷区更生保護協力事業主会会長の木村清氏などの取材協力を得た。

この作文は、上履き洗いに使っている石けんがなくなり、母に連れられて買いに行った少年刑務所の刑務作業常設展示場に陳列されていたかわいいフクロウの置物を見て「罪を犯した人がこんなに素敵な作品が作れるなんて……」と思い、女性刑務官の話聞くうちに犯罪者に対するイメージが変わった。子どもたちが犯罪や非行に走らないためには「安心できる環境」こそが必要であり、学校にいる間だけでも『安心』して楽しく過ごせるよう、私たち一人一人ができることを考えていきたいと思った—という内容だ。その作文を読んだ高木氏は〈その発想力に驚き、再犯防止の運動と関連させた作品にしたいと考えました〉とし、“子どもの作文の映画化”の第5弾として『フクロウ人形の秘密』(仮)の制作を決めた。

「何故、再び犯罪を犯してしまうのか」を“子どもの視点”で捉えたドラマに



製作総指揮・脚本・監督をつとめる高木氏(←写真)は けどう再犯者を減らしていくか — これは安全で安心できる社会を目指す上で最重要課題の1つです。再犯の背景には、刑務所を出所しても職と住まいを確保できず、地域で孤立しがちな事情があります。虐待や貧困、家庭の問題を抱えて犯罪や非行に走ってしまうことにもっと理解を深めなければ、再犯防止はうまくいかないのではないかと考えています。これまでの“子どもの作文の映画化”作品同様、「犯罪を犯して服役した受刑者が、何故、再び犯罪を犯してしまうのか」というテーマを“子どもの主観”で捉えたドラマにしたいと話している。

製作総指揮・脚本・監督をつとめる高木氏(←写真)は けどう再犯者を減らしていくか — これは安全で安心できる社会を目指す上で最重要課題の1つです。再犯の背景には、刑務所を出所しても職と住まいを確保できず、地域で孤立しがちな事情があります。虐待や貧困、家庭の問題を抱えて犯罪や非行に走ってしまうことにもっと理解を深めなければ、再犯防止はうまくいかないのではないかと考えています。これまでの“子どもの作文の映画化”作品同様、「犯罪を犯して服役した受刑者が、何故、再び犯罪を犯してしまうのか」というテーマを“子どもの主観”で捉えたドラマにしたいと話している。



◇映学社

<http://www.eigakusya.co.jp/>



同日、府中刑務所に隣接する刑務作業常設展示場(CAPIC)では、この物語で非常に重要な位置づけとなる、ユキ(清田美桜)がお母さん(米田弥央)と一緒に石けんを買いに来て、受刑者が作ったかわいいフクロウ人形を手取るシーン、女性刑務官役(藤田朋子)と会話するシーンの撮影が行われた

2019教育映像祭 7作品が優秀作品賞受賞!

小学校(幼稚園含)部門

大雨のとき気をつけること 早めに避難するヒント

文部科学省選定

小学校 中・高学年向け 18分
DVD 65,000円+税
学校 33,000円+税



中学校部門

SNSに潜む危険 書き込む内容・載せる動画

文部科学省選定

中学生・高校生向け 22分
DVD 65,000円+税
学校 33,000円+税



社会教育部門(家庭生活向)

「やさしく」の意味 —おばあちゃんは認知症だった—

ドゥルック国際映画祭 功労賞(ブータン)
クラウンウッド映画祭 公式選定(インド)
ホワイトユニコーン映画祭 公式選定(インド)
文部科学省選定

小学生以上・一般向け 33分
DVD 75,000円+税
学校 35,000円+税



社会教育部門(市民生活向)

自分の運転のここが危ない! 高齢ドライバー 安全運転のポイント

第60回科学技術映像祭部門優秀賞
推薦:
(一財)日本交通安全教育普及協会

一般・高齢者向け 20分
DVD 65,000円+税



助ける、助かる 検証 西日本豪雨

文部科学省特別選定

一般向け 22分
DVD 65,000円+税



あなたの老後の資金が奪われる! 従来型オレオレ詐欺 キャッシュカード交付型詐欺 架空請求詐欺

文部科学省選定

一般向け 24分
DVD 65,000円+税



職能教育部門

介護離職を乗り越える ～ある企業の取り組みに学ぶ～

一般・企業向け 25分
DVD 65,000円+税

